

合意形成と 議論の支援

東京大学 堀田 昌英

1

利害が異なる集団による 意思決定の難しさ

- 例) サッカーW杯 ポルトガル vs 韓国
両者引き分けなら, 共に決勝進出
どちらが負けても, 1次予選敗退の可能性有
ポルトガル曰く「引き分けにしよう」
- 協力のジレンマ(ポルトガル)
韓国が応じたらその途端勝ちに行く誘因
- 信頼のジレンマ(韓国)
ポルトガルに応じた途端勝ちに来る可能性

2

その他にも...

■ チキンゲーム: 合意と時間



■ 合意の解釈の相違

例)「合意しないことに合意する」

3

しかし実際には人は合意する

■ なぜ?

利他主義?

正義, 徳, 倫理?

共感?

4

「共感」を得る


- 共通の利益
相手の要求ではなく、要求の背後にある目的を見る
- 情報の共有
事実認識
「相手はどう思っているか」
「相手は自分がどう思っていると思っているか」等
- 異なる合理性の理解
「なんでこの事実からそんな結論に？」
役割交換の意義

5

異なる合理性を知る場：公共圏

- 多様な考え方に基づく議論が公共の場で交わされる
- 他者の理解，共感，共同体
- 熟議民主主義
- そのための媒体は？
例) 宗教改革，新聞，etc.

6



「印刷とは民主主義そのものである。なぜなら人々の手の届くところに知識をもたらすから。そして知識はいつか必ず人々に力を与えるであろう」

(Cooley, 1909)

7



公共情報資源の活用

- 断片化した情報
- 文脈の再構築
- 双方向性

8

CRANES:

熟議民主主義のための公共メディア

「反復的実証を通じた、
議論支援ツール」

Coordinator for
Rational
Arguments through
NEsted
Substantiation



- 市民
- 行政/議会
- 企業/団体
- 報道機関

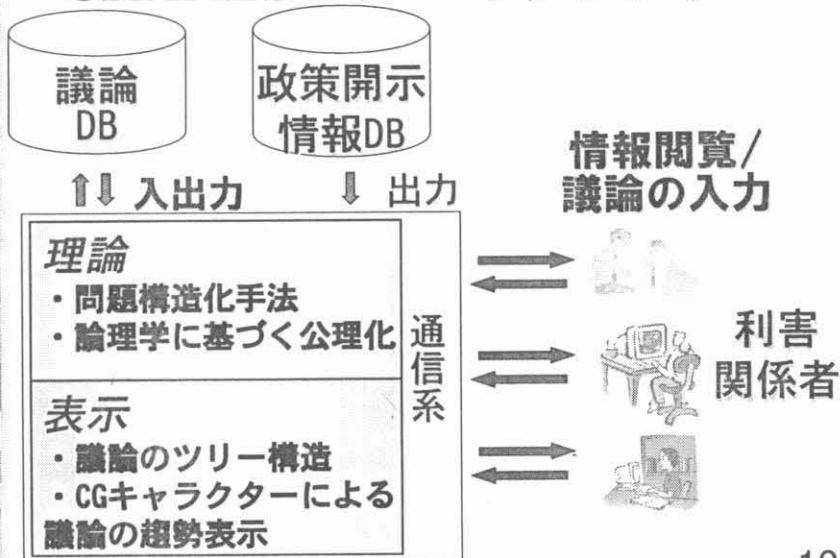
相互のコミュニケーション

自律的政策論議
をサポートする。

情報基盤システム

9

CRANESのアーキテクチャ



10

政策論議の構造化と 趨勢の指標化

$$PGR=1/4=.25$$

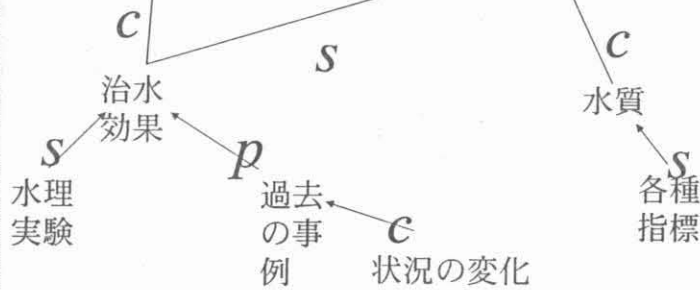
$$AR=4/(4+6)=.4$$

堤防補強が望ましい

$$PGR=3/6=.50$$

$$AR=6/(4+6)=.6$$

ダム建設が望ましい



11

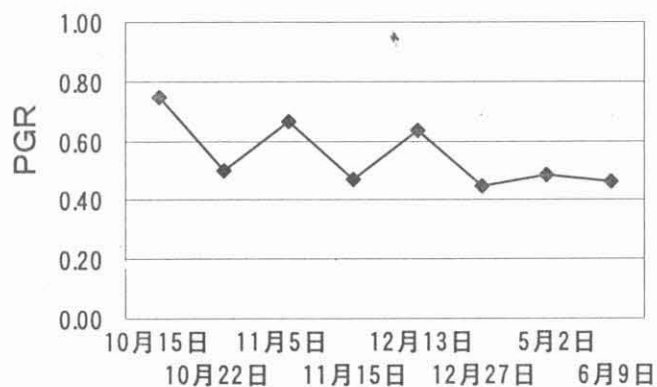
国内公共事業に関する事例

- 長良川河口堰に関する朝日新聞記事
- 記事をめぐる同社と建設省間の往復書簡
- 環境影響、情報開示等に関する議論
- CRANESによって視覚化

12

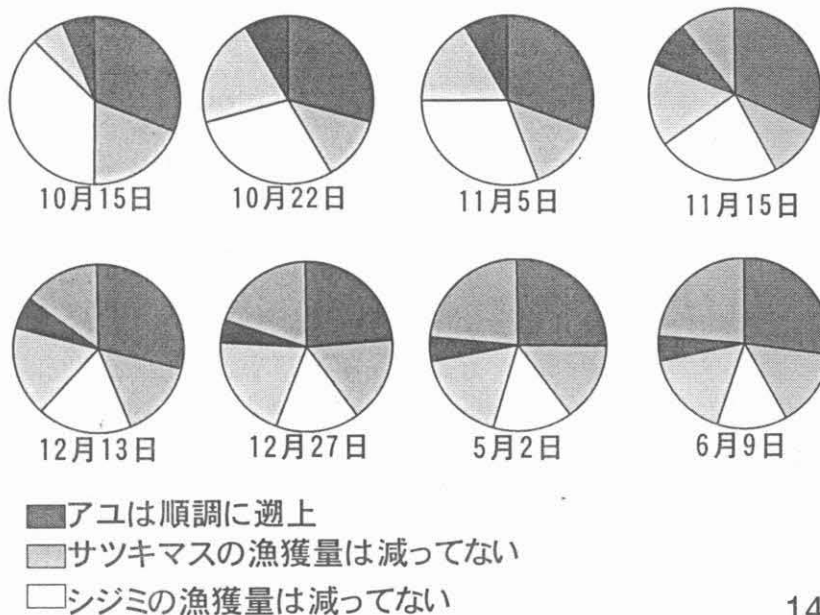
CRANESによる議論構造分析

■「建設省のウソ」という言説に関するPGR

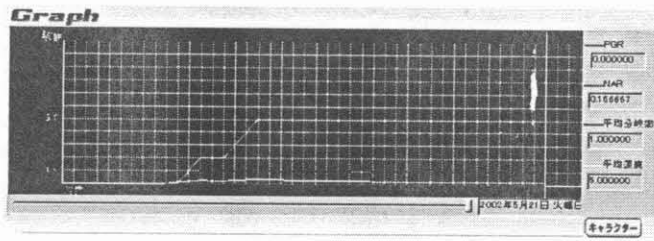
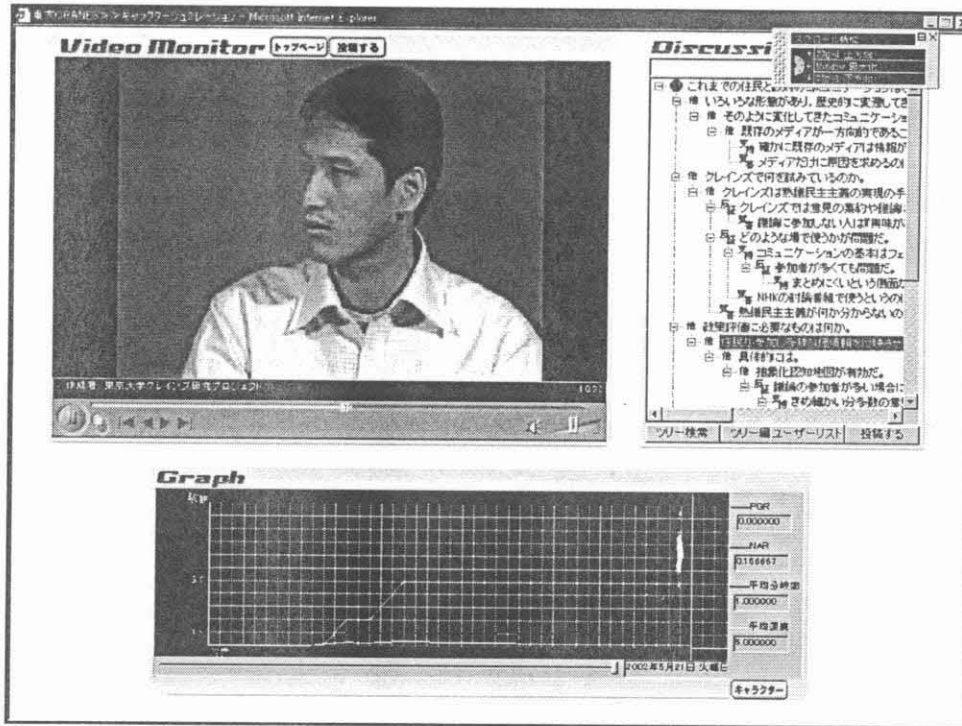


13

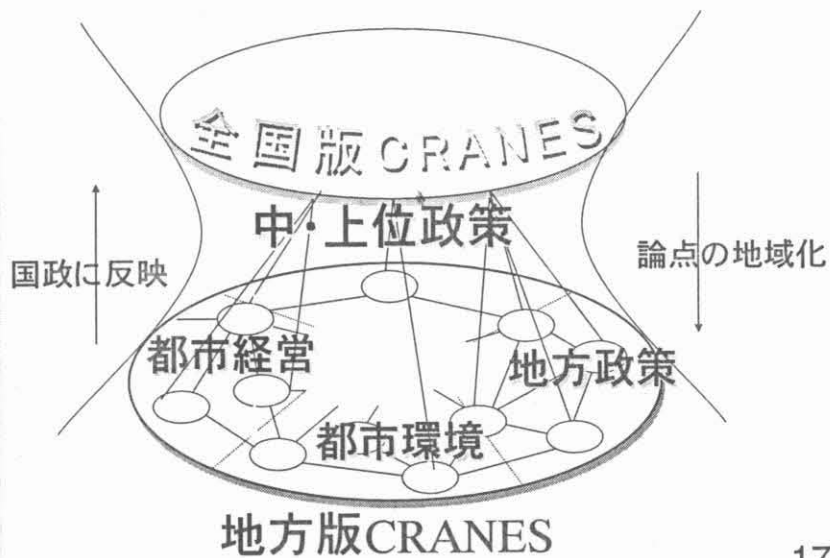
■ ARによる論点推移の分析



14



CRANES運用の概念図



17

新しい公共メディアの運用

- 誰が運営主体となるのか?
独立性, 中立性の確保
- 誰が規制や評価を行うのか?
- この情報の役割とステイタスは?
民意? 合意? 目安?
- 意思決定との関係は?
- 「決め方の決め方」に関する合意の必要性
- 民主主義的決定の社会基盤にむけて

18